

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-113	Year Month Day Time 2010 年 5 月 5 日 12 : 15
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
能代工高	( 21 1st 26 30 2nd 20 27 3rd 16 17 4th 18 OT )	市立船橋
95 ○		80 ●

主審:Referee 小澤 勤 山梨県  
副審:Umpire 小野寺 浩 秋田県  
テーブル・オフィシャル:Table officials 城南

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	/	熊坂 兼		0	0	0	0	0	4	×	平良 彰大	CAP	8	0	4	0	3
5	/	西島 宏哉		12	0	6	0	4	5	×	山田 侑樹		14	0	6	2	2
6	×	笹木 皓太	CAP	14	2	3	2	3	6	×	出羽 峻一		20	1	7	3	3
7	/	秋葉 真希		0	0	0	0	0	7	×	濱田 拓也		10	0	4	2	3
8	×	志水 一希		10	2	1	2	1	8	×	貝沼 雄介		11	3	0	2	2
9	/	中山 祐樹		1	0	0	1	1	9	/	中島 卓也		12	4	0	0	3
10	/	熊谷 慎也		0	0	0	0	0	10		根本 奨		-	-	-	-	0
11	×	田中 浩喜		6	0	2	2	1	11		小川 真司		-	-	-	-	0
12	×	溝坂 太成		16	1	5	3	2	12		佐藤 豪		-	-	-	-	0
13	/	伊藤 健太		4	0	2	0	0	13		佐久間 大翔		-	-	-	-	0
14	/	金田 海郷		5	1	1	0	0	14		清水 礼		-	-	-	-	0
15	×	中村 正也		6	0	3	0	2	15		品川 剛		-	-	-	-	0
16	/	三浦 基		0	0	0	0	0	16	/	西鶴 大輔		1	0	0	1	4
17	/	野里 淳貴		18	3	3	3	2	17	/	古牧 昌也		4	0	0	4	1
18	/	土屋 真人		3	1	0	0	2	18		石井 竜也		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 信長							コーチ		近藤 義行						
アシ		安部 敏明							アシ		井上 知徳						
合計				95	10	26	13	18	合計				80	8	21	14	21

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。

1Q、船橋は#7濱田のインサイドで先制する。能代も#8志水のジャンプシュートや3Pで応戦する。お互い速い展開での攻防となるが、船橋は#4平良のジャンプシュートや速攻、#8貝沼の3Pで得点し流れを掴む。残り3分、船橋#4平良の速攻が決まり13-20となったところで、能代はタイムアウトを要求し立て直しを図るが、21-26の船橋リードで1Qを終了する。

2Q、能代はディフェンスを2-3ゾーンに変えて巻き返す。能代#17野里がドライブ・3Pと果敢に攻撃して一気に追いつく。船橋#8貝沼が3Pで返すも、能代は#6笹木が3Pを決め譲らない。能代の勢いを止めたい船橋は残り4分のところでたまたまタイムアウトを要求する。すると、船橋は#7濱田のジャンプシュートや#6出羽が3Pを決め詰め寄るが、能代も#6笹木がドライブ・3Pと踏ん張り、51-46の能代リードで折り返す。

3Q、船橋は#5山田・#6出羽のジャンプシュートで追い上げるが、能代は#12溝坂が速攻・3P・ドライブからバスケットカウントと瞬く間に畳み掛け、会場はヒートアップ。残り4分、68-55と能代が13点リードとしたところで、船橋は2度目のタイムアウトを要求し立て直しを図る。しかしその後も流れは変わらず、78-62の能代のリードで最終ピリオドを迎える。

4Q、船橋は速い展開からシュートを続けるも、疲れからかシュートの精度が落ち始める。船橋はファウルを誘いフリースローで得点するが、能代も#5西島がインサイドで加点し点差はなかなか縮まらない。残り2分、船橋はゾーンプレスを敷き反撃を試みるが、流れを掴めないままゲームは進む。結局、能代が終始主導権を握り、95-80で勝利した。